

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 8 号

令和 6 年 6 月 26 日
南島原市立堂崎小学校
校 長 末吉 優

「堂崎っ子の心を見つめる教育週間」

長崎県では、平成16年から「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が始まり、「地域の子供は地域で育む」という認識のもと、継続的に学校・家庭・地域住民3者が連携してきております。本校でも、「堂崎っ子の心を見つめる教育週間」として24日(月)から始まっています。

近年は、感染症による児童生徒を取り巻く環境の変化、デジタル化の進展等により、様々な課題が生じており、より丁寧で適切な関わりが必要となってきています。

決して形式的に行うのではなく、特に目的にある3項目について、心を耕して、子供たち自身が社会の急激な変化に対応できる「生きる力」を育てていかなければなりません。

- 命を大切に作る心や思いやりの心の育成
- あこがれや将来への志の育成
- あいさつやマナーの向上



再度、子供たちの心情にフォーカスし、健全な子供を育てるには何が必要か、どのタイミングでアプローチすべきか、誰が担うのか、それぞれの立場で考えて対話を重ねることが大切かと思います。

子供を伸ばす会 6月25日(火)

堂崎地区の主任児童委員様、民生児童委員様、老人会長様、学校評議員様、PTA本部役員の皆様にお集まりいただき、それぞれの立場から、「今の子供たちに感じること」について率直に話し合っていました。

学校、家庭、地域住民が連携し、「いのちを輝かせて生きようとする心情を育む」という共通の目標がある中で、様々な立場から、何ができるか、どんな関わりをすればよいか、議論を重ねることが必要かと実感しました。

昨今のSNS等のネットトラブルによる社会問題を考えると、適切な使用、情報モラルの学びが不可欠であることは言うまでもありません。私は、「見えない根っこ」を育てるために、何がその成長を阻害しているのか、成長を促進する肥料や日光となる要因が何なのか、そのヒントが見えてきたと思います。

子供たちの健やかな成長のためにも、参加者の皆様からの意見をお聞きするとともに、学校の抱える課題をみんなで共有し、改善・解決に導くことの重要性を確認した次第です。

課題として、

- ① 登下校時、地域で子供の見守りをしてくださっている方々から、挨拶をしても子供たちからの挨拶が返ってこない場合がある。
- ② 信号のない横断歩道を渡っている子供がいるが、運転手から見えにくい。対策を講じてほしい。

との貴重な意見をいただきました。学校でも継続した指導を行っておりますが、家庭や地域でも御協力の程よろしく願います。



6年生「ふるさと発見ツアー」 6月18日(火)

南島原ひまわり観光協会：西園 様、南島原市商工観光課：清心 様の案内で、「有馬キリンタン遺産記念館」や原城跡を見学しました。

ひまわり観光協会ガイドの森 輝隆 様は、子供たちにキリスト教の布教と弾圧、農民たちの生活の苦勞について、分かりやすく、ユーモアたっぷりに説明してくださいました。

最後に、龍石海岸の地層を見ることで、島原半島の成り立ちを学習しました。

<子供たちの感想から>

- ・リンサムニュームが世界で3カ所しか見れないことに驚き、実際集めることができた。
- ・キリスト教布教と弾圧の歴史、北村西望さんの作品を見ることができた。
- ・湯島の周りは水深が深く、潮の流れが速い。そのため、各地の村長が集まり、湯島で話し合いが行われたということを知り、湯島に関心をもった。(談合島と聞いた訳が分かりました。)
- ・自分のふるさと南島原市(原城跡、島原・天草一揆、龍石海岸のなど)について知ることができた。



新入学1年生へのプレゼント

梅雨に入りましたが、先月JA共済から「黄色い学童傘」をいただきました。共済事業として、地域住民が健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりを目指した地域貢献活動として実施されているものです。交通安全啓発活動の取り組みの一環として、「子供の交通事故防止」に向け、今年もいただきました。子供たちに持たせますので、御活用いただければと思います。



栄養教諭：山本先生による給食訪問 【6月21日(金)】

子供たちの栄養のバランスを考えて、給食の献立を立ててくださっている山本先生が1年生を訪問されました。給食準備も手際よく行った1年生。「姿勢をよくして給食を食べよう」という内容で御指導いただきました。

足を床に付けて、背筋を伸ばして食べることを確認しました。食べたものは、胃で消化されますので、胃に負担をかけないように背筋を伸ばして食べると良いと指導されました。

